

研究者とオリジナリティ

小学生の頃は比較的よく本を読む子供だったので、偉人の伝記が何かに触発されたのでしょう、人生の目標としてとにかく世の中に自分の名前を残したいと思い立ちました。初めに思い付いたのが、新しい星を見つけて自分の名前を付けてしまおうという作戦で、天文学者になることでした。しかし、早くに近視になったことと無数にあるすべての星に既に名前があると知ったことから即座に諦めました。会社の社長になろうとか総理大臣になろうとか子供の夢は無限だったのですが、化学を教わってから化学物質を作り出し名付けようかと思いました。大学は工学部石油化学科を選び、さらに学び愕然としました。なんと IUPAC 命名法なんてものがあるではないか！しかしまだ、有名な化学反応には人名を冠するものもあることに気づきこれだと思ったけれども、さすがに既に大学生ですから新しい化学反応を見つけるなんて難しすぎると気づきました。そこで、触媒や触媒反応なら何とか名を残せるかもしれないと、触媒化学の研究室を選んだのでした。・・・